

富士山とグルメを求めて 駿河路を走る

レポート くるま旅探索隊

どこに行くかを、その日の気分や「今日の運勢」で教えられた「ハッピーな方角」で決めてしまうという気楽な旅を可能にするのがキャンピングカー。渋滞も収まった昼下がりと。とりあえず、夕陽に染まる富士山をゆったりと觀賞できる場所を探すつもりで駿河路を走ることにした。

途中のサービスエリアでクルマを止め、「どこに泊まるのか…」とJRV Aの推奨する「湯YOUパーク」のリストを調べると、まず目に入ってきたのが静岡市にある日本平ホテル。今回の旅はこのレポートから。

これが本当の富士山だ

東名自動車道の清水インターを降りて約10km。緑の鮮やかな山の小道を駆け登ると、にわかには開けた眺望の先に、どっしりとした構えを見せる荘厳な建物。

「くるま旅クラブの会員ですが、今晚駐車場での宿泊はできますか？」と携帯電話で確認を入れ、「本日なら飛び込みも可能です。遠慮なくお越し下さい」と優しくいわれてやってきた日本平ホテルだったが、こんな格式の高そうなホテルとは…。いささかひるむ気持ちも湧いてくる。

日本平ホテル(静岡県静岡市日本平)





「お待ち申し上げておりました」と、誠実な笑顔を浮かべたフロントマンが丁寧な挨拶を送ってくる。ただスイートルームの予約を入れた客にでもなった気分だ。

「キャンピングカーはどこに停めたいのでしょうか？」

「お好きな場所で結構です。正面玄関の前でもいいですよ」

と、ありがたいお言葉であったが、当日はイベントが開かれる様子で、玄関前は着飾った男女の往来が激しい。さすがにこっちから遠慮して、少し離れた高台の駐車場に停めることにする。クラスCのイエローストーンで来た先客がいるようだが、早くもお風呂に入りに行ったのか、車内に人のいる気配はない。

レポーターもさっそくお風呂を楽しむことにして、まず軽装に着替えてホテル内入りを果たす。途中、レストランの様子もチェック。和食コーナーから見える駿河湾の眺望が素晴らしい。湾の向こうには富士山の稜線がくっきり浮かんでいるではないか。今回の旅の目的は、これで良かったというものだ。買ってきた食材を車内の電子レンジで温めて夕食を取るつもりだったが、すっかり気分が変わり、入浴後はこのレストランで、富士山の雄姿を眺めながら食事を取ることに決める。



お風呂は決して広くはないが、格調高い造りでリッチな雰囲気味わえる。ガラス窓越しに広がる小庭園の眺めがなんとも優雅だ。

「青桐」と呼ばれる日本料理のレストランでは、思い切って懐石のコースを頼んだ。これがうまい。味もいいが、盛りつけも都会的で洗練されている。街の夜景もきれいだったので、ついつい酒が進んでしまった。湯YOUパーク1日目の夜は、とてもリッチな気分スタートした。

驚いたのは、たった千円の駐車場代を払っただけなのに、その領収書をわざわざクルマまで届けにきてくれて「ありがとうございました」と丁寧な挨拶されたこと。次からは部屋を取って泊まるのか…という気分になる。





このホテルは、景観に優れた美しい庭園を持っていることが特徴となっている。芝生広場の彼方に広がる富士山の雄姿を仰ぎ見た人は、必ず息を呑むに違いない。手入れの行き届いた芝生。美しく刈り込まれた樹木。人間の細やかな愛情によって管理されている庭園の向こうに、何徳年という風雪に耐えてきた“野性”の富士がそびえているという取り合わせは、妙に神秘的な気分させてくれる。人工美の極致と自然美の極致が融合するという、他では見られない風景といつてよい。

日が沈む頃には、富士山全体が紫色に染まり、ゆらめくような街の灯も明るさを増してくる。月が伊豆半島から登り始めると、駿河湾の海面には月光でつくられた“金色の道”が浮かぶ。それが自分と月を一直線につないでいるように見える。水と光で揺らめいているその道を渡っていけば、そのまま月まで歩いて行けそうな気分になる。

弥次喜多も愛したとろろ汁

翌日は、静岡市丸子の「丁子屋(ちようじや)」をめざす。弥次さん喜多さんが登場する『東海道中膝栗毛』にも紹介されているという江戸時代から有名なとろろ料理の店だ。いろいろならガイドブックで紹介されており、いつも観光客でにぎわっている名物店だが、ウィークデイなら大型キャンピングカーでも余裕で停められる駐車場が完備しているありがたい。

100人が座れそうな大座敷があり、その天井に飾られた「東海道五三次」の絵皿が名物だったが、地震が起きて絵皿が落下すると危険だという判断で、現在は取り外されている。ちょっと残念。

それでも、ここのとろろ料理は何度味わっても本当に美味だと思ってしまう。とろろ汁と麦飯。そして新鮮な刺身を堪能。静岡ならではの味を心ゆくまで楽しむ。



グルメを堪能できる湖畔のホテル

次に泊まったのは「浜名湖レイクサイドプラザ」。これも携帯電話で当日の予約を入れたのだが、本当は「前日までに予約を入れるのが原則」だという。この料金システムは、駐車場代は無料だが、レストランで夕食を予約することが前提となっている。その予約が前日に必要だというのは、駐車場の空きを確保すると同時に、料理の仕込みを調整するためらしい。「…そこをなんとか」とわがままを聞いてもらい、かろうじて最後の2人前というバ

イキングの料理を確保することができた。

東名自動車道の三ヶ日ICから10分。美しく暮れゆく湖畔の夕陽を背景に、洒落た白亜の建物が迫ってきた。駐車場に入ると、ちよっとした南国リゾートの風景が現れた。緑の葉を風にそよがせるヤシ。南欧風の屋根瓦におおわれたレストラン棟。白い椅子とテーブルが並べられた芝生広場の先には、静かな湖面が美しい鏡でも置いたかのように広がっている。小さいながらもプライベートビーチがあり、そのそばにはバーベキューハウスとゲーム



センターが並んでいる。ファミリーが訪れても十分楽しめる場所とみた。ホテル内に入ってびっくり。平日だというのに、ものすごい数のお客さんがいる。そうとう流行っているようだ。くるま旅クラブの駐車場キャンペーン。グカー泊であることを告げ、フロントにて入浴券(500円)と食事券をもらおう。支払いは、レストランで食べた分だけを清算すればいいとのこと。まず風呂へ。「万葉の滝」と名付けられた天然温泉は二つの内湯と一つの

露天風呂で構成されていたが、浜名湖を眺められる露天風呂が素敵だ。湯に浸かって火照った体に、湖面を渡ってくる風が天然のクーラーの快適さを教えてくれる。

一番関心したのは、レストランの味だった。「最後の2人前」といわれたバイキングだったが、これにありつけたのは幸運だった。パスタ系のソース、サラダのドレッシング、シチューなどのいわゆるソース系が絶妙な味付けになっている。利用客が多い理由もよく分かる。酒もそこそこに、つつい食べることに専念した。翌朝散歩をしていた老夫婦に挨拶を交わしたときも、「このホテルは料理の味が良いからね」と料理の感想を述べていたことが印象的だった。ちなみに昼のバイキングは予約なしでも楽しめるという。浜名湖観光の昼食ポイントとして覚えておいてもよいホテルだ。

うまいダイナーに気をよくして、夕食後はバーに入る。細長いカウンター越しに夜の浜名湖が広がっている。こちらが手持ちぶさただと判断したのか、行儀の良いバーテンダーが、さりげなく「ウイスキーを調合するブレンドー」についての話を披露してくれる。いろいろなるモルトを収めた樽から、それぞれを巧みに組み合わせ、ベストの味を調合するプロの話だ。ことさらウソチックを強調することもなく、面白い話をさらりと語るバーテンダーさんのほどよい距離の取り方が心地よい。洗練された対応を心得たバーテンダーがいることも、良いホテルの目安かもしれない。

浜名湖レークサイドプラザの露天風呂



豪華な鰻料理で古鼓

浜名湖といえば鰻である。「昼食は鰻！」と決めて、翌日はホテルのフロントがお薦めする「勝美」という鰻料理の店を探す。支店と本店があり、キャンピングカーなら三ヶ日IC近くの支店の方が停めやすいとのアドバイスホテルからもらったが、あいにく支店が休み。浜名湖と猪鼻湖を区切る新瀬戸橋の手前に店を構える本店におもむく。

勝美三ヶ日IC店



眼下に開放感豊かに猪鼻湖の景色が広がっている。奮発してうなぎの「特」というのを頼んだが、このポリウムがすごい。鰻だけで、ゆうに普通の鰻屋が出す「特上」の2倍強ある。食べ盛りの若者でも、きつと大満足だろう。駿河路のグルメ旅を締めくくるのにふさわしい、豪華な昼食を堪能できたことが良い思い出となった。
(文責・編集部「くるま旅探索隊」)

《参 考》

●日本平ホテル 〒424-8719 静岡県静岡市清水馬走 1500-2
TEL.0543-35-1131 <http://www.scg.jp>
湯 YOU パーク= 1泊 1,050円 利用時間= 13:00 ~ 翌 11:00
入浴料金=無料 (6:00 ~ 9:00 / 16:00 ~ 23:00)
アクセス=東名・清水 (もしくは静岡) ICより 25分

●浜名湖レークサイドプラザ 〒431-1424 静岡県引佐郡三ヶ日町下尾奈 200
TEL.053-524-1311 <http://www.h-lsp.com> 湯 YOU パーク= 無料
ただしレストランで食事のこと 利用時間= 15:00 ~ 翌 10:00 前日までに予約
入浴料金= 500円 (6:00 ~ 11:00 / 13:00 ~ 24:00) アクセス=東名・三ヶ日 ICより 10分

●丁子屋 (ちょうじや) 〒421-0103 静岡県丸子 7-10-10
TEL.054-258-1066 (木曜と月末の水曜日定休)

●勝美本店 〒421-1403 静岡県引佐郡三ヶ日町大崎 瀬戸
TEL.053-525-1055 (火曜定休)

●勝美三ヶ日IC店 〒431-1402 静岡県引佐郡三ヶ日町都筑
TEL.053-526-1035 (木曜定休)